

議会だより はこね



5月22日 箱根中学校運動会

主な 内容	● 6月定例会	 P 2～3	● 議員活動報告	 P 12～13
	● 一般質問	 P 4～8	● 小学6年生議会見学	 P 14
	● 委員会報告	 P 9	● 洞爺湖町との交流	 P 15
	● 議会報告会	 P 10～11	● ルボン将軍の碑	 P 16

6月定例会（6月11日～21日）

議決件数（19件）

専決処分（1件）承認

○令和5年度箱根町一般会計補正予算

- ・除雪関係経費2,482万円追加
- ・清掃第2プラント施設維持管理事業の繰越明許費^{*}設定 1,925万円
- ・ハイキングコース等整備事業の繰越明許費^{*}設定 434万1,000円

※繰越明許費…予算成立後の事由により、年度内に完了しない見込みのものを、翌年度に繰り越して利用できるようにしたもの。

条例制定（1件）可決

○箱根町デジタルを活用したまちづくり推進条例の制定について

条例改正（5件）可決

- 箱根町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び箱根町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町の水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- 箱根町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算（2件）可決

○令和6年度箱根町一般会計補正予算 補正額 1億47万8,000円

主な内容

- 電子計算処理推進事業追加 ……340万5,000円
- 職員給与費追加 ……8万4,000円
- 児童措置費経常経費追加 ……6万3,000円
- 地域医療体制推進事業追加 ……4,008万3,000円
- 予防接種委託料追加 ……3,221万8,000円
- 地域観光行事特別助成事業追加 ……262万5,000円
- 地域医療体制推進事業追加 ……2,200万円

人事案件

○監査委員の選任

秋山 英一さん（湯本在住）（再任）

○人権擁護委員候補者の推薦

鈴木 元子さん（大平台在住）（再任）

議会議事案件

○第49号 箱根町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

※地方自治法の一部改正に伴う議会に係る手続きのオンライン化等に対応するため。

○第50号 箱根町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

※地方自治法の一部改正に伴う議会に係る手続きのオンライン化等に対応するため。

○請願第1号 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める請願書

※所管の総務企画観光常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。

工事請負・物件購入の締結（8件） 可 決

①件名 ②落札業者 ③契約金額



①復元施設再整備工事（箱根関所）
②上野工務店
③8,675万7,000円



①湯本小学校校舎屋内運動場
長寿命化改良工事
②箱根建設・小川工務店
共同企業体
③16億3,900万円



①仙石原公民館エレベーター設置
工事
②勝俣工務店
③6,413万円



①高規格救急自動車1台購入
②神奈川トヨタ自動車
③2,633万4,000円

①高規格救急自動車用医薬品・
医療機器
②ワコー商事 ③1,474万円

①消防ポンプ自動車1台購入
（消防団第2分団第3部納入
予定）
②小川ポンプ工業東京事務所
③2,610万3,000円



①移動式バスケットゴール
（レイクアリーナ箱根納入予定）
②扇屋運動具店
③979万円



①粗大ごみ処理施設基幹的設備
改修工事
②神鋼環境ソリューション
東京支社
③2億8,820万円

議員別議案賛否一覧

（賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣
34	箱根町デジタルを活用したまちづくり推進条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	－
37	箱根町水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 －：議長は採決に参加しません。

（勝俣陽二）

質問者	質問内容	ページ
折橋 尚道	・小涌園診療所閉鎖後の温泉地域の医療について ・3次医療まで速やかにつながる地域医療体制について	4
川口 延明	・交通渋滞解消に対するソフト・ハード両面での考え方について	5
勝俣 陽二	・箱根町における民泊に対する苦情対応について	6
佐藤 章子	・公共施設再編に伴う公共施設統廃合の基本理念と将来へ向けての考えを伺う ・無人宿泊所の増加について、箱根ブランド力への影響と今後の展望を伺う	
勝俣 泰彦	・オーバーツーリズム対策について ・消火栓等の設置基準及び維持管理状況等について	7
村野由紀子	・箱根町地域防災計画について ・町民の移動手段について	
鈴木 美貴	・町施設の利便性向上について ・防災対策について ・箱根町の出火防止対策と消防活動について	8
山田 和江	・女性支援新法について ・日本遺産箱根八里の「大阪・関西万博」への出展について ・障害者へのタクシー券支給事業の拡充について	

6月定例会では、町政全般へ8人の議員が、16項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

町の考えを問う！

一般質問

温泉地域の診療所計画は？

折橋 尚道 議員



町 令和8年度の開院を目標に診療所誘致を決定

問 6月補正予算で診療所誘致に関する土地取得予算が成立した。宮ノ下に候補地を決定した意図と経過並びに設置場所と開院の時期は。

答 **町長** 温泉地域自治会連合会からも温泉地域内で医療の確保を求める要望があり、小田原医師会と協議して診療所の開設に向けた取り組みを進めてきた。

電車やバスなどの公共交通機関の利用が可能で、幹線道路が通っている宮ノ下地区が最適であると判断した。候補地は、宮ノ下観光駐車場の隣で、以前歯科診療所のあった場所であり、用地取得交渉に当たっては、地元の自治会長さん等と相談しながら地権者との交渉を進めてきた。

新たな診療所の開設時期は、令和8年度を予定している。

問 医師の診療科目はどのような科目か、また今後の施設建設

において、設計の段階から医師の意向を反映した診療所を期待する。

答 **保険健康課長** 診療科目は外科で、部屋の配置・内装については医師の考えを反映し、基本設計や実施設計の段階から随時医師に確認を取りながら、設計業務を進めていく。住民に対する町側からの説明会の予定は。

問 **保険健康課長** 今までの経過は自治会連合会等には説明しているが、具体的な住民説明は、来年の4月以降予定している。



建設予定地

湯本駅付近の

交通渋滞解消への早期対応



川口 延明 議員



町

関係機関と粘り強く交渉していく

問 湯本駅付近の歩行者用信号機
の設置は将来的な対応策とし
て協議を継続していくとしているが、
町の置かれた状況に鑑みれば、先延ば
しせず早急に検討すべきではないか？

答 **町長** 関係機関へ要望を
行った結果、神奈川県警察本
部及び小田原警察署が現地確認を実施
し、交通安全上の4つの課題があるこ
とから信号機の設置はできない旨の回
答があった。

警察からは①「歩行者滞留スペース
の不足」、②「一方通行等の規制が必要
になる」、③「国道1号沿いの歩道への
切れ目の無い柵の設置が必要になる」、
④信号機を設置する場合、近距離内で
2つの横断歩道に信号機を設置するこ
とは出来ず、片方の横断歩道を廃止す
る必要があり、仮に「横浜銀行前の横
断歩道に信号機を設置した場合は滝通
り入口前の横断歩道を廃止する必要が



湯本駅前

ある」との理由から、これらの課題が
全て解消されなければ、信号機の設置
は出来ないとのこと。信号機を設置す
る場合、小田原警察署の見立てでは間
違いなく渋滞が悪化し、住民の理解を
得る必要があるというものであった。
今後、警察から具体的な提案を受ける
こととなり、その提案を受けて改めて
町の方針を検討していきたい。

「民泊設置に関する指導要綱」

の作成検討を求める



勝俣 陽二 議員



町

条例や、県の指導指針に重ねて町の指導指針を設置す
ることは考えていない

問 町内における民泊の騒音等に
よる「耐え難い精神的苦痛」
を感じている町民がいる中、箱根町の
自然豊かな静かで住みよい環境は、町
自身で守らなければならないという強
い信念と覚悟を持っている。箱根町に
おいての「民泊設置に関する条例」の
制定ができないならば、民泊の騒音等
に対する苦情の根源となっているのは、
宿泊施設の無人化であることは明らか。
軽井沢町と同様に宿泊施設は原則とし
て、簡易宿所であっても、玄関帳場ま
たはフロントの設置義務を課し、使用
人等の駐在規定を加えた「民泊設置に
関する指導要綱」の作成を検討してい
ただきたいが、町の見解を伺う。

答 **観光課長** 県では関係法令や
条例・規則、その他住宅宿泊
事業の適正な運営に関する指導指針を
制定し、簡易宿所や民泊の営業に関す
る指導等を行っている。したがって、



町としては条例はもちろん、県の指導
指針に重ねての指導指針を設けること
は考えておらず、国の法令及び県の例
規等を事業者及び利用者双方に遵守し
てもらうことで、安全・安心かつ健全
な宿泊施設が営まれ、普及していくよ
うに県保健福祉事務所と連携するとこ
もに、町関係部署間で協力しながら対
処してまいりたいと考えている。

スタッフ無人の宿泊所の増加について箱根ブランド力への影響と今後の展望は？



佐藤 章子 議員



町

防火管理業務が適切に履行できるよう指導

問

近年箱根町内では『無人宿泊所』の増加が顕著である。これは特に火災発生時の対応に不安が残る。

答

住民生活の安全性と共に箱根ブランドの将来が懸念されるが町長の見解は。町長 消防法令により、宿泊施設の管理者は防火管理者を選任して消防計画を作成しそれに基き初期消火や119番通報、避難誘導の管理業務を履行することが義務付けられている。

施設ごとに緊急時発生を想定した訓練にて迅速・的確安全に実施できるかを立入り検査にて検証している。今後適正に防火管理業務の指導を継続していく。箱根町に宿泊されるお客様の大切な生命を守ることは箱根ブランドを向上させる為にも重要なことであり今後もしっかりと対応していく。

問

昨年12月議会で『緊急時の対応が迅速・的確・かつ安全に出来るかの実態を消防職員が検証し指導していく』との答弁だったが、その後の指導経過は。

答

消防長 宿泊施設の内、実際に火災等が発生した場合の対応が難しいと思われる宿泊施設3件に対して立ち入り検査をした結果、防火管理面が改められ、建築中の施設についても確認申請の変更により防火管理業務が改善された。



オーバーツーリズム対策



勝俣 泰彦 議員



町

地域の現状と課題を洗い出したうえで、内容を五つのカテゴリーに分類し、それぞれ実施して行く

問

「未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業の先駆モデル地域型対象20地域選定」は。

答

町長 観光客による過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度低下が生じており、適切な対応が求められることから、観光庁は観光客の受け入れと住民生活の質の確保を両立し、持続可能な観光地域づくり実現のため、地域自治体があるべき姿を描き、地域の実情に応じた具体策を講じる取り組みを実施する市町村に、総合的な支援を行う補助事業で、箱根町は先駆モデルの創出を事業内容とする「先駆モデル型」に応募し採択された。

問

取組を実施する五つのカテゴリー分類は。

答

町長 本事業は交通事業者や地域住民の協力を得て対策に当たり、具体的策として①パーク&

ライド促進のための環境整備・調査、箱根・ゴールデンコース逆回り需要調査②宿から宿へのキャリーケース配送サービス体制の整備③箱根登山バスの車内荷物置き場の整備④タクシー車両にポケットーク導入⑤大涌谷渋滞情報看板更新・大涌谷三叉路への誘導員配置・「はこねカーシェア」利用促進プロモーション等である。



災害時

炊き出しの準備や訓練を！



村野 由紀子 議員



町

今年度の防災訓練で検討している

問

小中学校等の調理施設の耐震化は大丈夫であるとの答弁だが、ハザードマップには、湯本小学校と幼児学園、レッドゾーンとイエローゾーン、箱根の森小学校もレッドゾーンとイエローゾーン、土石流警戒区域、仙石原小学校と幼児学園は3メートルの浸水区域で近くはレッドゾーンとイエローゾーンとなっている。公民館や集会所等、調理施設があるところは、有効活用できるよう準備と対応は。

答

総務防災課長 避難所の調理施設が使用出来なくなった場合や調理施設を保持していない避難所は、炊き出しセット等の備蓄品を有効活用し対応する。

問

例えば、仙石原では、お祭りの時に甘酒と焼き鳥を焼いたり、金時祭りの時は、女性会の皆様と災害の炊き出しのつもりで、ちゃんこ鍋を作った。資機材を利用している訓練

や炊き出しのお手伝い、ボランティアの把握も必要だと思うが、今後の取り組みは。

答

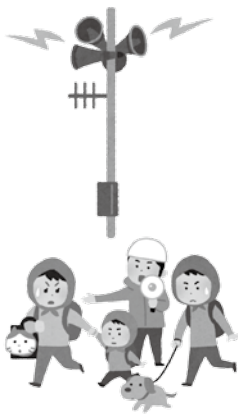
総務防災課長 今年度の防災訓練は自治会、女性会及び職員等による炊き出し訓練の再開を検討している。被災者、避難者への炊き出しに参画してもらえ協力団体を整備する。

問

公園や広場が避難所になっているが、かまどベンチの設置の検討は。

答

総務防災課長 雨天時や積雪時は使用困難。関係機関等の意見を参考に検討する。



観光客のニーズに応じた

公衆トイレの整備状況は？



鈴木 美貴 議員



町

町所管と県所管があるが、今後も整備を進めていく

問

町内の公衆トイレは多くの観光客が利用し、ニーズに応じた設備が求められるが、整備について伺う

答

町長 町所管のトイレが27か所、県所管が10か所、その他2か所、合計39か所あり、町所管のトイレは洋式化、温便座化が完了している。利用者が快適に利用できるように、湯本駅前を始め利用頻度の高い施設に便座クリーナーの設置、ベビーカーやベビーベッドの整備、誰もが使えるみんなのトイレには、オストメイトの設置、男性トイレへのサニタリーボックスの設置などアメニティ類について整備を進めている。

問

町内において、住宅や作業場そして宿泊施設での火災が続いて発生し、尊い人命が失われるとともに、貴重な財産が失われ、町民生活に不安を与え、箱根のブランドにダ

メージを与えることになるが、火災発生を未然に防ぐ火防対策は？

答

消防長 今回の火災を受け、消防本部として5月14日から、木造3階建て以上及び傾斜地に建築されている宿泊施設、火災が発生した場合に消火活動が困難と思われる宿泊施設、合計48施設に対して「緊急査察」を実施し、避難経路の確保や消防用設備の点検を行い、防火管理体制の強化を図っている。



タクシー券支給事業の拡充を！



山田 和江 議員



町

3級の下肢に障害のある方を対象に検討する

問

当町では人工透析者や重度障害1、2級の障害者に日常生活の支援のためにタクシー券を支給している。しかし、3級以下の障害者でも移動に困難をきたしている方もいることから、支給範囲を拡充すべきだ。

答

町長 私のところにも、対象者でない下肢に障害のある方から、通院や買い物に大変との意見を頂いている。3級で下肢に障害のある方に補正を含め早く検討する。

問

大阪・関西万博に三島市と共同出展で「日本遺産箱根八里」に308万円が計上され、共産党は問題点を指摘して反対した。その後、夢洲の建設現場で爆発事故が発生した。職員をこのような危険な所に派遣し、たった五日間のために税金を使うよりもっと地に足をつけた誘客宣伝をすべきだ。

答

町長 日本博覧会協会は再発防止策を徹底し整備をするとのことで、町としては予定通り準備を進めていく。

問

「日本遺産箱根八里」をだれもが安全に通行できるように、二つの点について伺う。一つは、箱根の道の駅から箱根峠まで行くのに7回も道路を横断しなければならぬこと、もう一つは、函南町の一部で通行止めとなっていることだ。

答

生涯学習課長 安全安心な旧街道として整備していく。通行止めの部分は共用開始する予定と聞いている。



正副委員長・事務局長研修会

5月17日・神奈川県自治会館

講師：読売新聞特別編集委員 橋本 五郎



上段：講師 橋本 五郎氏

下段：研修会参加者

村野議員・川口議員・折橋議員・佐藤議員

講師、橋本五郎読売新聞特別編集委員による「どうなる日本の政治」と題して、明治時代から国の為に自らの命をかけて政治に取り組んだ政治家を紹介しながら、米ソの冷戦時代における55年体制や現在の裏金問題など政治記者時代を通して独自の見解を話されました。

政治不信を招く原因の一つは、根本的な議員資質の劣化であり、政治資金においても透明性が重要で、資金提供者も受け取る側も臆することなく、オープンにすべきとしました。

政治家の本質を鋭く突いたお話には、私たちも襟を正して町政に向かうことを再認識することができた研修会でありました。

(折橋尚道)

委員会活動報告

デジタル化推進条例の制定について審議しました！

総務企画観光常任委員会 委員長 勝俣 泰彦

本議案は本定例会におきまして、総務企画観光常任委員会に付託され、去る6月13日に町当局の出席を求め会議を開催し、慎重に審査を行なった。

本条例は、デジタル化の推進がデジタル社会を形成する上で極めて重要であることに鑑み、デジタル化の推進について基本理念を定め、並びに町の責務及び町民の役割を明らかにするとともに、デジタル化の推進に関する基本原則を定めた条例であることから、採択を行った結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。



審議の様子

「今後の学校の在り方」について意見交換を行いました

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口 延明

5月20日に委員会を開催し「今後の学校のあり方」について所管課と意見交換を行い、当初の学校の施設整備計画では平成27年度から令和9年度までの整備計画であったものがコロナウイルス感染症などの影響により耐力度調査などが遅れ、すべての施設の終了予定が令和10年度以降になるとの説明を受けました。

各委員からの意見の中で、長寿命化計画は文部科学省の指針に添って行われているか、学校設備整備計画の遅れによる費用の負担増はないか、学校教育を取り巻く環境（児童の減少）が進んでいく中での学校長寿命化の取り組みについて、近年の人材不足による教職員の配置数に問題が生じないか、いじめによる不登校はないか、などの意見交換をいたしました。今後も必要に応じて調査研究を行っていきます。



意見交換の様子

議会報告会

5月29日、役場会議室で4年ぶりに開催しました。

当日は、13名の方にお越しいただきました。ありがとうございました！

前半はパワーポイントを使用して令和6年度予算の説明、後半は各テーブルごとに参加者の皆様と関心のあるテーマでご意見やご要望等をお聞きし、懇談させて頂きました。



議会報告会アンケートを参加者の皆様にお答え頂きました

- お住まい
湯本地域 4名、温泉地域 1名、宮城野地域 1名、仙石原地域 5名、箱根地域 1名、町外 1名
- 参加しやすい開催日時（複数回答あり）
平日の夜 6名、休日の夜 4名、平日の午後 3名、平日の午前 1名
- 参加しやすい開催場所
最寄りの公民館、集会所（地域での開催含む） 9名、役場 4名
- 説明内容（複数回答あり）
分かりやすい 7名、分かりにくい 2名、どちらとも言えない 4名
- 説明時間
ちょうど良い 11名、短い 2名
- 感想 良かった 9名、普通 4名
（・直接、議員と話ができて良かった ・資料の字が小さい ・席の作りを考えた方が良い ・初めて参加した）

参加された皆様からのご意見・ご要望

○ 子どもと一緒に入れる・授乳・おむつ交換できるトイレがない

＜観光課＞ 現在、ベビーベット・ベビーチェアの設置されている公衆トイレは湯本駅前、大原（仙石原）、関所前、函嶺洞門、小涌谷、強羅（ベビーチェアのみ）です。設置不可のトイレもありますが、なるべく快適に利用出来るよう維持管理を図って参ります。

＜議会から＞ ピクトグラムでの表示など誰にでも分かりやすいサイン等で案内を！



○ 資源ごみの収益状況を広く周知した方が、協力者が増えるのでは

＜環境課＞ 毎年、5月に発行される広報はこねでお知らせしています。収集した古紙と布類で令和5年度は約290トン・買収金額137万円でした。令和6年度は、8月号でお知らせします。

＜議会から＞ 8月号では、古紙と布だけではなく、ペットボトルやカンなども掲載を！

○ 救急患者受け入れ医療機関を町内に設置してほしい

＜保険健康課＞ 箱根リハビリテーション病院と協議していましたが、医師の確保、救急車受け入れ体制などが必要な事から、現時点では難しい状況です。

＜議会から＞ 今後も協議を続けてほしい！

以下の回答は、二次元コードからご覧になれます。

- 固定資産税の超過課税を行なっているのになぜ、不交付団体か
- 消滅都市になったが大丈夫か
- 宿泊税の早期導入をした方が良いのでは
- 入湯税見直し案で施設の利用料金に応じて税率による徴収の検討を
- 観光業以外の業者の誘致を行なってほしい
- 各種の財源確保に取り組んでほしい
- 受益者負担の制定、観光税他の名目での税課税を導入できないか
- 湯本弥坂湯を町が運営してほしい
- 民泊やゲストハウスに管理者を置いてほしい
- 民泊業者が増えている。ごみ処理、騒音等の対策をしてほしい
- 旧箱根物産館の解体後新たな施設について、町の事業としてできないか
- インフラ投資が重要、インフラに投資をして大々的に打ち出してほしい
- 弥栄橋の補修、改修が必要ではないか、調査してほしい
- 木造住宅耐震化の補助金を増額してほしい
- 災害時補助金、上限100万円は少額すぎる
- 防災対策で宿泊事業者に避難所開設協定を結び事業者の固定資産税の優遇措置を検討し協力事業者を増やせないか
- 避難経路、避難場所、ハザードマップを過去に災害が発生した現状と照らし合わせ住民と共に見直しを行なってほしい
- 災害の発生を想定した情報伝達方法や避難指示、住民の行動等、共にシミュレーションを行なってほしい
- 防災用品で自治体が入り込んでいる公園のベンチを様々なものに利用できないか



議

員

活

動

報

告



皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報ください。

〈連絡先：85-9570（議会事務局）〉



6/7

お玉が池植栽

多くのボランティアさんと一緒に植栽に参加しました。結構急な斜面で移動には苦労しましたが、土は柔らかくて掘りやすく、意外と早く終了しました。
(折橋尚道)



5/26

森林浴ウォーク

今年第40回目を向かえた箱根路森林浴ウォークは、芦ノ湖東岸コース12kmを歩き、ゴールの森のふれあい館ではキッチンカーやお楽しみ抽選会で盛り上がりました。
(鈴木美貴)



6/26

箱根温泉蒸気井管理協議会研修会

「大地震における箱根・小田原地区被害状況について」をテーマとした神奈川温泉地学研究所 主任研究員 本田亮氏の講演に参加しました。

神奈川県周辺の地下ではプレートの境界が入り組んでおり、常に地震が発生している。100年間のうちに一度くらいは地震の被害を受ける地域であるとの話を伺いましたので、生きているうちにかならず大きな地震がくる！と思いながら、防災対策に役立ててまいります！
(村野由紀子)

取材に行きます！
お知らせください！！



6/27

土砂災害避難訓練

土砂災害・全国防災訓練が、湯本山崎自治会で実施され、集会所に避難した住民に町総務防災課による、土砂災害のビデオや防災講話が行われました。
(鈴木美貴)



6/30

温泉体育会ソフトバレーボール大会

毎年恒例のソフトバレーボール大会、恵明学園の体育館をお借りして勝負にこだわらない和やかな大会です。日ごろの運動不足解消に役立っています。

(折橋尚道)



7/5

令和6年度 熱海・箱根・湯河原 広域行政推進協議会

1市2町で協力して行政運営を推進するための協議会です。今回は熱海で会議が開催され、町長・副町長並びに行政職員、議会からは折橋委員長・沖津副委員長・山田議長・稲葉副議長が参加。観光や防災など様々な内容の意見交換をしてきました。

(折橋尚道)

6/29

箱根よさこいソーランまつり

『群舞ソーラン座創立20周年記念大会』が盛大に開催され、記念講演は『熊川哲也氏』をお招きし、華やかで楽しいひと時となりました。

(佐藤章子)



議員と語り合いませんか!??

「議会との意見交換会」 開催希望について

少人数のグループでもかまいません。
ご希望の方は、ご連絡ください。



議会事務局
☎85-9570

文化・スポーツ財団との意見交換会

7月9日に、社会教育センター（二ノ平）において、箱根町文化・スポーツ財団と議会との意見交換会が行われました。令和5年度事業の実施状況や今後の

事業の展望などについて、教育福祉環境常任委員からは会員の減少や各種スポーツ団体の育成などについて質疑が行われ、財団からは子どもの減少が進む中で、中学校の部活動との関わりと支援について今後の検討課題として取り組む必要性について提案が出されました。

(鈴木美貴)



小学校 6年生

地方自治学習・議会見学



私たちは6年生になると「地方自治」について勉強します。そして3校が集まって役場に行き、議会傍聴や役場の様子を見学します。見学した感想を各学校から聞きましたので読んでください。



湯本小学校

議会では、大きな会場で、みんなとても聞きやすいスピードで話していて、議員さんたちは工夫しているのかなと思いました。代表委員会とは違い、ペットボトルや紙コップ、マイクやタブレット等があり、びっくりしました。将来、働いてみたいです。



役場食堂で事前オリエンテーション(湯小)



議会応接室での様子(湯小)



仙石原小学校

議員の方たちの緊張が伝わってきました。それからすぐに意見が出るのがすごいと思いました。話を聞いていたら、とんでもない額のお金の話が出てきたからびっくりしました。



正副議長室(仙小)



傍聴席から議場を見学(仙小)



質疑応答(森小・恵明)

恵明学園

「議員さん達一人一人が皆のために、色々考えてくれているのだ」と思いました。ふざけている人なんて一人もなく、議員の皆さんは真剣に会議をしていて、町民の僕たちはいつも守られているのだと思いました。見学させていただき、ありがとうございました。

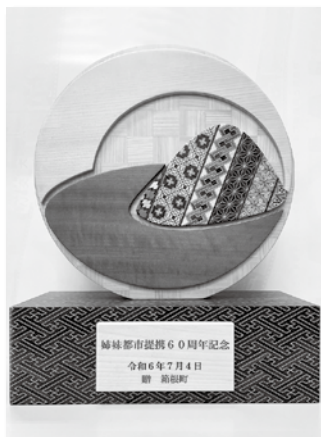


事前授業(森小)

箱根の森小学校

箱根町民が安心して、豊かに暮らせるように色々な取組を行っていることを知ることができました。本会議では、議長を中心に話し合いを進め、話している人も周りの人の目を見ながら話し、聞く人も話している人を見て、話をちゃんと聞いていて、質問ができていくことが分かりました。

【北海道洞爺湖町と姉妹都市提携60周年を迎えました】



当町から寄木細工で作った
洞爺湖町の町章を送りました。



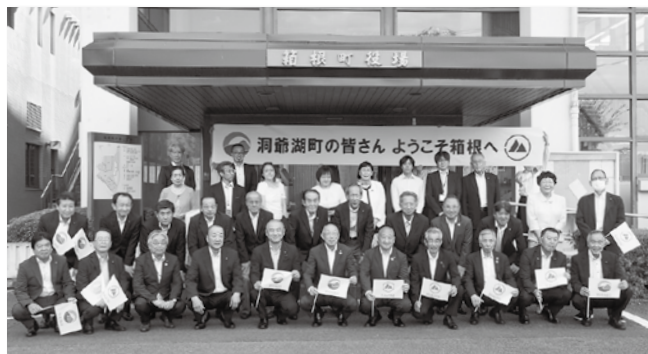
洞爺湖町から洞爺湖温泉観光協会
オリジナルキャラクター洞龍くんの
木彫りの人形をいただきました。

箱根町は富士箱根伊豆国立公園、洞爺湖町は支笏洞爺国立公園に属しており、芦ノ湖と富士山・洞爺湖と羊蹄山など、両町は火山によって形成されたカルデラ地形で、温泉がある観光地であることから、昭和39年7月4日（当時は虻田町）に姉妹都市の提携を結び、去る7月4日「姉妹都市提携60周年記念式典・祝賀会」が開催されました。

記念式典では、「両町が姉妹の絆を深め、子々孫々に継承していくことを誓い合う」宣誓書に両町長が署名後、記念品の交換を行い、最後に60年の歩みとして、両町代表者各2名（箱根町・折橋尚道町議、佐藤守箱根DMO専務理事。洞爺湖町・石川邦子町議、千葉薫町議）が訪問時等の思い出を語り、祝賀会では各自再会の思い出話に花を咲かせ、終始和やかな雰囲気でした。（勝俣泰彦）



60周年記念式典



9月定例会の日程（予定）

本会議

8月27日、9月3日、6日、10日、10月1日

決算特別委員会

9月13日、17日、20日

※ 8月20日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。
詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

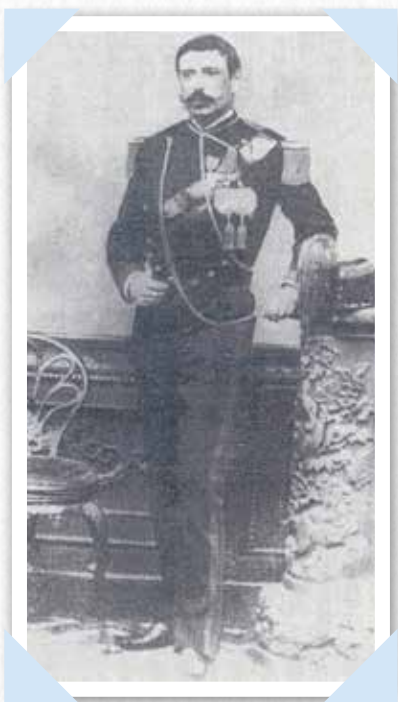


箱根町百景めぐり



ルボン 雲盆将軍 再遊碑

(ルボン将軍の碑)



ジョルジュ・ルボン
(1885～1923)



雲盆将軍再遊碑

宮ノ下から宮城野に向かう途中、木賀の雪害対策基地を少し過ぎた左手にある石碑です。江戸時代には箱根七湯の一つに数えられた木賀温泉ですが、明治25年(1892年)の火災や同43年(1910年)の早川の洪水により多くが被災し、江戸の温泉場の雰囲気を伝えるものはほとんど残されていません。かつて集落があったことを偲ばせる石造物の一つに、国道138号線の山側に幅の広い碑があります。将軍は、明治政府の招きで陸軍の編成のために来日したフランス人です。滞在中、木賀温泉に逗留し、大変印象深く過ごしました。それから、50年を経て再訪したところ、相次ぐ災害のために木賀は昔の面影を失っていたためにたいへん嘆いたそうです。

この碑は、その話を聞いた地元の人々が将軍の気持ちを碑に託し、建てたものです。

(箱根町教育委員会発行
箱根探訪ハンドブック 宮城野コース編抜粋)

投稿者・稲葉親太郎

協力・箱根町教育委員会

編集後記

「議会で何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」について、皆で集まり、時にはオンライン会議を通じて、町民の方々にわかりやすく「伝える」努力を重ねています。(勝俣陽二)

広報広聴委員会

委員長 村野 由紀子

副委員長 折橋 尚道

委員 鈴木 美貴・勝俣 陽二

佐藤 章子・勝俣 泰彦

